

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 華陽フロンティア高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年11月9日(木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 華陽フロンティア高等学校 仮設校舎管理棟通信制第2職員室
- 4 参加者

会長	安田 和夫	岐阜聖徳学園大学教育学部 教授
副会長	廣瀬 富久夫	本校同窓会 会長
委員	臼井 悟	鶉自治会連合会 会長
	木下 福太郎	本校卒業生 (欠席)
	田内 恵美	本校校友会 会長
	前田 貴子	地域創生キャリアプランナー
	松野 恵	本校PTA 会長
	南谷 東子	人権擁護委員
学校側	鵜飼 陽一郎	校長
	長澤 紀明	副校長
	松野 聡美	事務部長
	辻 昌宏	教頭(定時制課程)
	笠井 寛	教頭(通信制課程)

### 5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校評価アンケート結果について
- (2) 定時制課程 文化祭見学
- (3) 意見交換

#### ○ 学校と家庭の連携について

意見1: メール配信で情報がいただけることはありがたい。学校が出す文書についても、子供からもらうときに会話のきっかけになっている。

意見2: 自分の経験から、高校生の男子は親と話をしないのが普通ではないか。学校評価アンケートの「家庭で学校に関する話をしている」の項目は、70%を超えているので十分ではないか。メール配信で保護者に必要な情報が届いているのであればよい。

#### ○ ボランティア活動について

意見1: 大学入試や就職の面接で「ボランティア活動をしているか」と聞かれることがある。もっとアピールできる活動があるとよい。

意見2: 学校のやらせたい活動と生徒のやりたいことがずれているのではないか。校外でできるボランティア活動の情報を、生徒に提供してはどうか。

意見3：子どもたちは、無償で何かさせられることをボランティアだと勘違いしている。やってみたいボランティア活動をアンケートなどで聞いてみてはどうか。

意見4：インターンシップをすると、自分にその仕事が向いているかどうかが分かると思う。ボランティア活動で、介護などの仕事を体験することもよい。

#### ○ 体罰について

意見1：体罰については、受け取る側の感じ方次第という面がある。きつめの注意が、体罰と捉えられることもある。

意見2：ある学校で、授業中にしゃべっていた子どもをきつく叱ったところ、保護者から「体罰ではないか」との電話があり、教員が悩んでしまったという話を聞いた。時と場合によっては、厳しく指導することも必要ではないか。

意見3：学校評価アンケートの「本校では、体罰がない」の項目で、「あてはまらない」が0%でないが、学校ではどのようなようであるのか。

→10月の県教委の体罰調査では、「体罰がある」と回答した生徒はいなかった。生徒対応については、常に丁寧な言葉遣いを心がけている。

#### ○ その他

意見1：部活動は大事なので、外部コーチなどを活用して、指導できる者がいない状態にならないようにしてもらいたい。

意見2：子どもが就職先を探すとき、自分に合った仕事に分からなかったが、先生方が相談に乗ってくださり的確なアドバイスをいただけてよかった。

意見3：楽しみ、喜び、気付き、発見などが人生を豊かにする。そのようなことがいっぱいある学校生活になるとよい。

意見4：通信制において、中学校で不登校を経験した生徒が7割を超えている現状で、学校評価アンケートの「本校に入学できてよかった」の項目が9割を超え、「お子様はよろこんで学校に通っている」の項目が7割を超えたことは評価に値する。

### 6 会議のまとめ

- ・学校評価アンケート結果に基づいて、活発な意見交換を行った。また、生徒の日々の活動を知ることで、各委員の学校への理解も深まった。
- ・本校の教育活動に寄せる期待や要望を多く聴くことができる貴重な機会となった。
- ・次回は、本年度の反省と次年度への取り組みについて、意見や提言を集約する予定。